

地方労働組合の殆んど全面的に衰れし顯著なる特徴の一つである。

即ち其の最も大なる例は、過去十五年間に亘りて管に北九州のみならず我邦労働運動史上に特殊の足跡を有する官業労働同志會と日本製鐵労働組合聯合會との二大労働組合が夫々解体して日本製鐵従業員組合を結成（昭和八、八、二六）したることであり、之に次いで昭和四年九月設立の九州合同労働組合が北九州一帯並に筑豊炭山地方に散在せる舊大衆黨系團體の統一合同を目的に強力なる新労働組合樹立の爲本年十二月四日一應其の解散を聲明し新組織に奔走してゐることである。

其の他八幡市の刷新派労働組合と北九州金屬労働組合とが合同して九州一般労働組合を結成し（昭和八、一、一一）

直方市の筑豊労働組合と飯塚市の建築労働會と田川郡の日産合同労働組合との三團體が合同して筑豊合同労働組合（昭和八、一二、一〇、直方市に結成）を夫々統一組織し、或は亦粕屋労働組合員中ライディングサン西戸崎油槽所従業員は本年十月大阪に於て石油労働の全國的單一組合の成立するや即ち同十一月十五日石油労働組合西戸崎支部を結成し粕屋労働組合員にして且つ石油労働西戸崎支部員となり他方海上労働方面にては門司、戸畑兩港に於ける海友同志會は本年九月日本港湾従業員組合聯盟が單一組合に改組せらるゝや之と共に日本港湾従業員組合の門司支部、戸畑支部として組合の改組を行つたのである。

b、右翼労働組合の勞資協調

福岡地方に於ける労働組合の大勢は、現在舊社民黨系團體